

Value of Montparnasse

「昔ながらの味」



モンパルナスさんでは「昔ながらの味」をコンセプトの一つにしているそうで、お客さんの笑顔を守りたいという思いが由来だそうです。そのため、製造工程や商品はなるべく変えないようにしているのだそうです。

「懐かしさ」



「懐かしさ」とは、パンの味のことだけではなく、販売方法も懐かしであるんだと、お聞きしました。ショーケースに並べられたパンを買いに来るお客さんと店員さんとの会話も懐かしさの一つであるそうです。

手作りパンの店
モンパルナス 



SDGs



Column of Montparnasse

姉妹店！？

モンパルナスさんには姉妹店があり、草薙にあるミヤマパンさんがその姉妹店なんだそうです。

静鉄草薙駅から徒歩数分の場所に位置し、しずてつストアの周辺にあるみたいなので、大学の帰りなどに寄ってみるのはいかが？
こちらのお店にもぜひ足を運んでみてください！

店名の由来

もともとは「みやま」という名前を使っていたが、パンのセルフセレクト方式をどこよりも早く取り入れ、当時ではそれが画期的な方法であったため、「みやま」よりもおしゃれな感じで名前を変更した。フランスのモンパルナス地方というところから名前を付けたそう。

コロナ禍で…

日本でも2020年初めごろから大流行した新型コロナウイルス、やはりモンパルナスさんにもコロナの影響が…とはあまりならなかったそうです。もともと全てテイクアウトで販売してたこともあり、売り上げの大幅な減少はなかったのだとか。

また、モンパルナスさんだけではなくほかのパン屋さんでも同様だったらしいです。

担当学生

山見琉星 後藤あい 清水美羽 鈴木丈翔 渡邊嘉音

静岡県立大学 ×  しずおか焼津信用金庫
令和4年度 SDGs学生インタビュー企画

モンパルナス

Profile of Montparnasse



モンパルナスさんの主な事業はお店でのパンの製造販売。ほかにも地域の学校の購買での販売や売店・飲食店への卸売りもしている。このように外部での活動も積極的に行っているそう。

こちらは1955年（昭和30年）に創業し、場所を転々としながら65年以上も営業を続けるいわば老舗の企業である。そんな歴史のあるお店だが、見た目はとてもかわいらしい作りになっている。黄色い看板にクマのキャラクター、入り口にもクマの形をした置物があり、子どもでも怖がらず安心してお店に入れるような作りになっている。

お店の目の前には城北公園があり、普段はお子様連れのお客様や長年利用してくれているお母様方、また子供だけで来店してくれることもあるのだそう。それができているのもモンパルナスさんが地域の方々にとっても信頼されている証拠です。



お店の入り口



店内の様子（陳列された商品）



地元で愛されている人気 No. 1 の「城北パン」

Concept of Montparnasse

「あの頃と変わらぬ味を守り続け、小さな子供一人でも安心して買い物できる店づくり」（HP参照）。これが長年にわたり営業を続けることができていくモンパルナスさんのお店のコンセプトです。

学生時代に購買で買って食べたパン、毎週のように買っていたパン。これが数年後、数十年後の大人になったときにまた食べることができたら懐かしさと同時に喜びも感じられると思います。そんなことを思い、モンパルナスでは昔から変わらぬ作り方をし続け、味や大きさなど残せるものは残すようにしているのだといいます。

インタビューを受けてくださった社長の長谷川誠さんは「地元で活かしてきた企業だからこそ地元とのつながりを大切にしている。記憶の財産として、このパンやこのお店を守っていきたい」と語ってくださいました。

私たちが今回のインタビューを通して、モンパルナスが地元を愛し、地元で愛されている企業なのだと感じる事ができました。

株式会社モンパルナス

所在地：420-0884 静岡県静岡市葵区大岩本町 12-12 TEL：054-245-3301 FAX：054-245-3302 営業時間：6:00~17:30※なくなり次第終了

定休日：火曜日 駐車場：一台（無料） 予約：電話受付 FAX 受付

Montparnasse × SDGs



しずおか焼津信用金庫
キャラクター「たねココ」

まず、モンパルナスのSDGs活動に触れる前に前置きとして、社長の長谷川さん曰く「SDGs活動を行おうと意識していたわけではなく、以前からお店自身が社会貢献として行っていたことがたまたま流行りのSDGs活動につながっていたというだけの話」なのだそう。そのためモンパルナスさんのSDGs活動に関しては、明確に目標の何番に該当するということがわからないと言われたため、学生の自分たちの視点から該当しそうな目標に当てはめました。

2 飢餓を
ゼロに



子育て支援

子育て世代の方を少しでも応援したいという思いから、静岡県が発行している「子育て支援カード」を提示してもらったうえで、かつ300円以上お買い上げの方にパン粉一袋をサービスしている。

実はこのパン粉はパンの耳からできており、パンの耳は余ったものが産業廃棄物になってしまうため、パン粉として利用し、このようなサービスにつなげている。

4 質の高い教育を
みんなに



職業体験・学校との共同活動

中高生の職業体験の受け入れをし、働くことの大変さを生で体験する機会を設けている。またその職業体験の時には、パンの製造から接客・販売までのすべての工程を体験してもらっているのだそう。

学校との共同活動としては、静岡農業高校と協力して、静岡の在来作物を守るために商品開発を行ったほか、2006年には静岡県立大学経営情報学部岩崎ゼミとコラボし、静岡の食材をふんだんに使用した「しずおかラスク しずく」を作成した。

8 働きがいも
経済成長も



静岡大学附属特別支援学校とのコラボ

ある時、特別支援学校の子が「お菓子を作りたい」と言って、三種類のラスクの絵を描いた。その絵をもとにモンパルナスさんに作ってほしいと言われ、社長自身も実現してあげたいと思ったそう。そして実際に三種類のラスクを作った、これをせっかくだから売ろうと思い店頭で並べたところ、この三種のラスクはすぐに売れたんだとか。

そこで社長は「自分たちの絵をもとに作られた商品が売れたお金で、目に見える形になるということを知ってほしい」と考え、オリジナルバージョンのすごろくを作成し、特別支援学校に寄贈しました。

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



被災地支援

2011年の東日本大震災のとき、被災地の岩手県ではクルミの木がたくさん生えていた、そこでモンパルナスさんはクルミを使った支援をした。

まず、クルミを剥くという仕事をつくることで雇用を生み出した。そして、クルミを使った商品を売ることで収入を得た。こうして、被災地での雇用の損失を防ぎ、利益を守った。